

第6章 保存管理

第1節 保存管理の方向性

史跡金剛寺境内には、平安時代後期から近代にいたる建造物、飛鳥時代以降の仏像を含む美術工芸品などの多くの指定・未指定の文化財や樹木などがある。寺院としては、平安時代後期以降中近世から現在にわたって密教寺院であるとともに、境内都市的機能をもつ一山寺院でもあり、寺辺領や寺内組織を保持していた。境内は伽藍・坊舎群・鎮守社などからなり、中世有力寺院としての特徴を今日に伝えている貴重な文化財である。

また、建武中興関係史跡としても貴重で、昭和9年（1934）に建武中興600年式典の開催に合わせて指定を受けたものであり、近代史を理解する上で重要な資料が多く残っている。

こうした貴重な文化的資源は、適切な保存・管理を行い、後世に伝えていかなければならない。しかし、史跡であると同時に、宗教活動の場であり、寺院関係者などの生活の場でもあることから、恒常的に現状変更が行われ、景観や遺構への影響も受けざるを得ない状況にある。したがって、現状変更を規制する基準の適用により保存管理を行っていく必要がある。

以上に述べてきた史跡の価値と現状を踏まえ、以下の4項目を基本方針として設定する。

【基本方針】

- ① 中世密教寺院および境内都市としての特徴を踏まえ、その後の史跡指定にいたるまでの歴史的経緯を理解するため、必要とされる史跡構成要素を明確に把握し、その歴史的価値を適切に評価していく。
- ② 地上構造物・自然物・景観・地下遺構などの史跡の構成要素について、適切な保存管理の方法を示す。
- ③ 周辺環境も含めて、一体的な保全の方策を進める。
- ④ 宗教学者としての活動と調和させつつ、地域に根ざした包括的保存管理を進めるための運営の方法を示す。

史跡金剛寺境内には、第4章で指摘したように、「生きた史跡」として境内で行われる宗教活動と史跡保全のバランスをとる必要性があり、オーセンティシティーを持つ複合的な文化遺産群の集積地として、あるいは、中世一山寺院としての良好な歴史的景観が残る場所として、適切に保存管理を行う必要がある。

また、第3章で述べたように、本質的価値として「古代に草創されたという寺伝を有し、中世に形成され、近世以降にも整備・修復されてきた一山寺院」「中世以降近代にかけて歴史的に形成された南朝関連史跡とその顕彰、戦前・戦中における国民教化資源」の2つの側面が存在している。本質的価値の構成要素には、指定文化財、歴史的建造物・構造物があり、これら物件や木竹、岩が集合することで、歴史性を色濃く残す地区を構成している。こうした物件や地区は、現状保存されなければならないが、また、基本方針に基づき、歴史的価値が理解されるように管理を行う必要がある。

史跡内には、本質的価値を構成する要素を保全し、管理・活用するための施設や設備、も

しくはその用途に使われている地区なども存在している。これらは、本質的価値の構成要素と密接に関係している。ただし一方で、史跡の本質的な価値とは直接関係のない、一般の住宅や近年の宗教施設なども存在している。

本章では以下に、これら物件の分類を行い、類型ごとに適切な保存管理の方法を示す。さらに、広大な境内地における防災・防犯に対する備えについて、課題と今後の取り組みの方向性について整理し、災害発生時の対応について記載する。

第2節 保存管理の手法

1. 個別地区の設定

史跡の範囲を対象として、計画範囲を第17図のように設定した。ただし、この範囲は広大で、場所によって史跡構成要素の種類に大きな偏りがあり、土地利用のあり方、景観も大きく異なる。また、このような史跡構成要素や景観のまとまりは、中心伽藍、子院遺構群、東西の丘陵、街道沿いごとに地形的にも完結性が高く、あたかも複数の史跡が集合している観がある。史跡をより有効に、弾力的に保存するために、下記のように複数の地区に分割し、各地区の特性に応じた柔軟な形での保存管理を行う。

- ①中心伽藍地区
- ②摩尼院地区
- ③本坊（観蔵院）地区
- ④史跡北部の子院遺構群地区
- ⑤天野川東岸の子院遺構群地区
- ⑥史跡南部の子院遺構群地区
- ⑦鎮守社（丹生高野明神社、水大明神社）及び拝殿を中心とする東部丘陵地区
- ⑧西部丘陵地区



第17図 区域区分図

2. 保存管理運用基準の設定（第19図、第8表、第9表参照）

第4章で整理した史跡の本質的価値および現状を踏まえ、保存管理の方法の違いにより第Ⅰ種から第Ⅲ種までの保存管理区域および、第1種から第3種までの保存管理物件を各地区に設定し、保存管理運用の基準とする。なお、第1種保存管理物件および第2種保存管理物件について、物件の価値に応じて細分類を行った。なお、「区域」とは一定の面的な広がりをもった土地を指し、「物件」とは個々の建造物・建築物あるいは構造物と構造物にともなう土地を指す。

【第Ⅰ種保存管理区域及び第1種保存管理物件】

第Ⅰ種保存管理区域及び第1種保存管理物件とは、史跡の本質的価値の構成要素であり、保存の対象となる区域や物件である。第Ⅰ種保存管理区域及び第1種保存管理物件は、第5章で整理を行った史跡の本質的価値を有する指定文化財・歴史的建建造物・歴史的工作物等が該当する。なお、歴史的とは、戦中以前に建てられたものを指すこととする。

また、第1種保存管理物件については、以下のように細分類を行った。

（第1a種保存管理物件）

第1a種保存管理物件とは、中世より継承された一山寺院としての景観構成要素や南朝政治拠点として機能した意義を今日に伝える要素である。古代～近世に属するものについては、廃仏毀釈以前における寺院景観の連続性の中で、一体的に価値を捉えられるものであることから、基本的に全てを第1a種とする。

（第1b種保存管理物件）

近代（戦前・戦中）に属する物件の内、史跡指定の要件である一山寺院としての構成要素および南朝方の史跡としての価値が歴史的に形成されたことを示す要素を第1b種とする。特に、観蔵院などは、これらの中でも特に重要なものであることから、第1a種と同等の保存措置を講じる。

（第1c種保存管理物件）

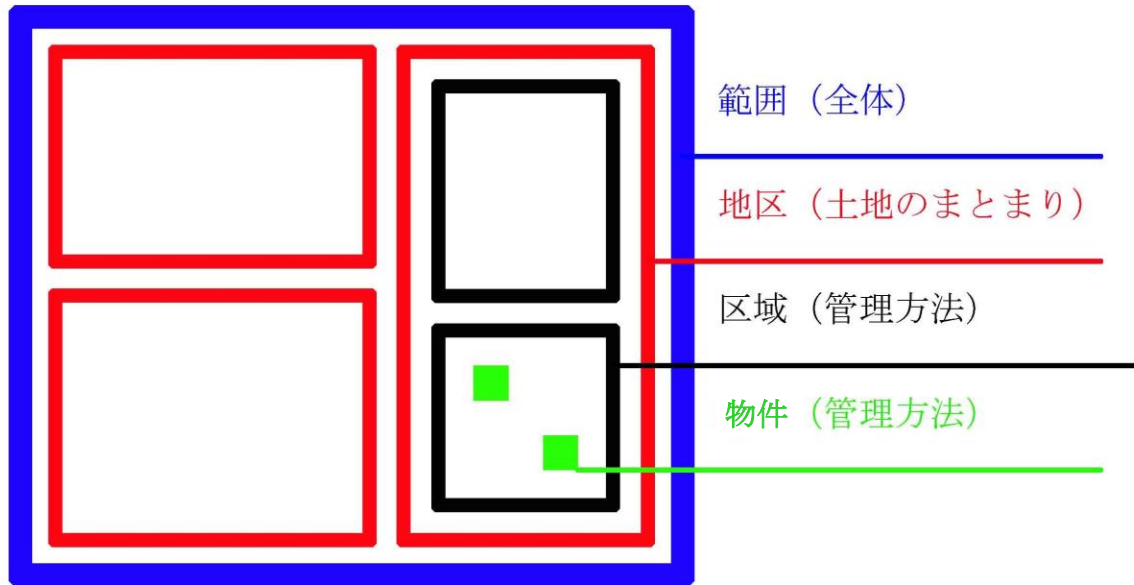
第1c種保存管理物件とは、近代に属する寺院の歴史的背景・成り立ちを理解するために重要な要素で、第1a種、第1b種以外の物件である。

第8表 保存管理区域の種別

保存管理区域	内 容
第Ⅰ種保存管理区域	現状保存区域
第Ⅱ種保存管理区域	管理上の便益施設や保存管理のための区域
第Ⅲ種保存管理区域	第Ⅰ種保存管理区域及び第Ⅱ種保存管理区域以外の地域

第9表 保存管理物件の種別

保存管理物件	説明	具体例
第1a種保存管理物件	近世までに構築された一山寺院としての景観構成要素や南朝政治拠点として機能した意義を今日に伝える物件	金堂、多宝塔などの指定文化財、その他、未指定の堂などの近世までに築造された一山寺院としての構成要素を継承する物件 近世までにつくられた南朝政治拠点として機能した意義を今日に伝える物件
第1b種保存管理物件	近代に属する物件の内、史跡指定の要件である寺院としての価値、南朝方の史跡としての価値に直接かかわる物件	近代に設置された南朝政治拠点として機能した面や南北朝内乱の舞台となった歴史的意義を今日に伝える建造物、顕彰碑など
第1c種保存管理物件	寺院の歴史的背景や成り立ちを理解するために重要な近代に属する物件で第1b種保存管理物件以外の物件	近代に設置された寺院の歴史的背景を理解する上で重要な物件の内、第1b種管理物件を除く墓城、墓地、記念碑、顕彰碑、石造物などの工作物や建物など
第2a種保存管理物件	史跡の活用・管理上必要不可欠な物件	管理用建築物、管理用工作物、道路、標識など
第2b種保存管理物件	かつて史跡の活用・管理上の機能を果たしていた物件	管理用建築物、管理用工作物、道路、標識などのうち、現在使用されていない物件
第3種保存管理物件	史跡内における第1・2種保存管理物件を除く物件	一般建築物、一般工作物、近年に作られた信仰の対象物



第18図 「計画範囲」「地区」「区域」「物件」の用語の区別について

【第Ⅱ種保存管理区域及び第2種保存管理物件】

第Ⅱ種保存管理区域及び第2種保存管理物件とは、史跡の管理上不可欠な便益施設や史跡及びこれらの構成要素を保存するために設置された設備あるいは、これらの目的で使用されている区域である。このような施設や設備は、史跡の構成要素の保存という意味から、史跡にとっては不可欠なものである。第Ⅱ種保存管理区域及び第2種保存管理物件には、史跡管理のために使われている区域・管理用建築物・管理用工作物・道路・標識などが該当する。

また、第2種保存管理物件については、以下のように細分類を行った。

(第2a種管理物件)

第2a種保存管理物件とは、史跡地および史跡構成要素を保存するために設置された物件や、現状で機能を果たしている管理上不可欠な便益施設である。

(第2b種保存管理物件)

第2b種保存管理物件とは、かつて史跡地および史跡構成要素を保存するために設置された物件や、老朽化によってすでに現状で機能を果たしていない、かつて管理上不可欠であった便益施設である。

【第Ⅲ種保存管理区域及び第3種保存管理物件】

第Ⅲ種保存管理区域及び第3種保存管理物件とは、史跡の本質的価値やこれらの保存とは直接的な関わりを持たない区域や物件である。このような区域や物件として、史跡内に建つ一般住居・一般工作物・近年に作られた宗教活動のための施設などが該当する。

3. 景観の保全

これまでに示した第Ⅰ種～第Ⅲ種保存管理区域、第1種～第3種保存管理物件の設定以外にも、全体景観を視野に入れ、ゆるやかな保全措置を行う。

4. 「計画範囲」「地区」「区域」「物件」の用語の区別について

本計画では、「計画範囲」「地区」「区域」「物件」のいずれも空間あるいは史跡の構成要素を示す用語を区別して用いている。「計画範囲」とは、本計画が対象とする全域を包括する概念であり指定範囲と同じである。「地区」とは、「計画範囲」を8つに分割、設定した地区を指す。「区域」とは保存管理方法の相違に基づいて設定した第Ⅰ種から第Ⅲ種の区域を指す。「物件」とは個々の対象物を指す。

第3節 現状変更等の取扱方針および取扱基準についての共通事項

1. 保存管理区域および保存管理物件の設定

ここでは、史跡金剛寺境内の適切な保存管理のために、現状変更の取扱方針および、取扱基準を定める。史跡金剛寺境内における8つの地区にそれぞれ、第Ⅰ～Ⅲ種保存管理区域及び第1～3種保存管理物件を設置し、各地区にふさわしい現状変更等の取扱方針および取扱基準を定める。この際、各地区の基準に統一性を持たせる必要があるため、まず第10表により、基準となる基本方針を定める。

2. 想定できる現状変更の項目

想定できる現状変更の項目として、下記の6つの項目を挙げ、項目ごとに、取扱方針・基準を定めることとする。

- ア 建築物の新設・増改築・移転・撤去
- イ 上下水道・パイプライン・その他水路等の新設・改修・撤去
- ウ 木竹の植樹・伐採等
- エ 道路の新設・改良
- オ その他、構造物の設置・改修・撤去
- カ 指定文化財の保存修理
- キ 建造物内部の維持管理上必要な修理等
- ク 防災対策（集中豪雨・台風被害・土砂災害・土砂流出）
- ケ 防災対策（地震・火災）

第10表 保存管理物件種別ごとの現状変更の基準

保存管理物件	現状変更
第1a種保存管理物件	宗教活動上止むを得ない場合を除き、史跡の保存・管理・活用のための現状変更以外は、現状での保存を行う。
第1b種保存管理物件	宗教活動上止むを得ない場合を除き、史跡の保存・管理・活用のための現状変更以外は、現状での保存を行う。ただし、第1a種保存管理物件の保全、景観維持や復元、活用に際しては、これを優先し、当該物件に関しては、史跡の価値に配慮し、最大限の保存措置を行う。
第1c種保存管理物件	史跡の保存・管理・活用のために行う現状変更にあたっては、最大限の保存措置を行う。
第2a種保存管理物件	史跡の保存・管理・活用機能が損なわれず、地下遺構や景観に大きな影響を及ぼさない限り、原則的に現状変更をみとめる。
第2b種保存管理物件	地下遺構や景観に大きな影響を及ぼさない限り、原則的に現状変更をみとめる。
第3種保存管理物件	地下遺構や景観に大きな影響を及ぼさない限り、原則的に現状変更をみとめる。

※第1a種保存管理物件の指定を受けた樹木について、管理にともなう剪定はみとめる。また、枯れた場合の伐採や、倒壊した場合の措置についても同様にみとめる。

3. 保存管理物件の種類と保存管理方法

保存管理物件は、第11表のA～Pまでの16種類に分類する。第11表に基づく、第1種保存管理物件には、B（指定文化財）、C（歴史的建造物）、D（歴史的工作物）が該当する。これらの中、B（指定文化財）はすべてを第1a種保存管理物件とし、C（歴史的建造物）、D（歴史的建造物）、L（標識）については、年代、性格に応じて第1a～1c種保存管理物件とすることを基本とした。第2種保存管理物件には、H（管理のための区域）、I（管理用建築物）、J（管理用工作物）、L（標識）が該当する。第3種保存管理物件には、M（その他区域）、N（その他建築物）、O（その他工作物）、P（現代の宗教施設）が該当する。なお、A（区域）、E（岩）、（F）木竹、K（道路）は、個々の対象物の特性に応じて、第1種～第3種保存管理物件とした。また、G（景観）については、地区ごとに保全の方法を示した。



第19図 保存管理区域区分図

第11表 保存管理物件の対象

項目		概要
A	区域	物件の特性に応じて 庭園、池、広場など
B	指定文化財	第1種保存管理物件 (I a) 国宝、重要文化財、府指定文化財、市指定文化財
C	歴史的建造物	第1種保存管理物件 (物件の特性に応じて I a～I c) 建築物の内、歴史的価値が高いもの
D	歴史的工作物	第1種保存管理物件 (物件の特性に応じて I a～I c) 石垣、石段、橋、道標、記念碑、燈籠などの内、戦前のもの
E	岩	物件の特性に応じて 人力で移動させることができない岩石
F	木竹	物件の特性に応じて 植物の内、木や竹
G	景観	物件の特性に応じて 史跡の歴史的価値を示す景観
H	管理のための区域	第2種保存管理物件 (物件の特性に応じて 2aあるいは2b) 駐車場など
I	管理用建築物	第2種保存管理物件 (物件の特性に応じて 2aあるいは2b) 管理上必要な建築物
J	管理用工作物	第2種保存管理物件 (物件の特性に応じて 2aあるいは2b) 管理上必要な工作物
K	道路	物件の特性に応じて 園路、国道、府道、市道など
L	標識	第2種保存管理物件 (物件の特性に応じて 2aあるいは2b) 案内板、説明板、標識など
M	その他区域	第3種保存管理物件 住宅、倉庫など
N	その他建築物	第3種保存管理物件 電柱、道路標識など
O	その他工作物	第3種保存管理物件 電柱、道路標識など
P	現代の宗教施設	第3種保存管理物件 戦後建てられた銅像や石碑など

※岩・木は、個々の特性に応じてふりわけを行った。

※歴史的な工作物とそのほかの工作物は、個々に検討するが、戦前・戦後を判断の目安とする。

※歴史的建造物と管理用建築物の区別は、用途よりも、建築年代・意匠を優先して判断した。

第4節 各地区における現状変更等の取扱方針および取扱基準

①中心伽藍地区取扱方針

金剛寺の中心をなす地区であり、地区内には重要文化財の金堂、多宝塔、食堂をはじめとする指定文化財が多く存在する。これらの建物は近世の改修を経ているものの、中世以前の要素を継承していて、伽藍における諸堂の配置や内部空間についても中世の状況を踏襲しているとみられる。また、当該地区は築地塀に囲まれており、完結性の高い地区となっている。このようなことを踏まえて、地区全体を第Ⅰ種保存管理区域とする。なお、宗教活動の中心となっている地区でもある。伽藍内から眺望できる景観は、保存の対象とし、できる限り、現状での景観維持に努める。

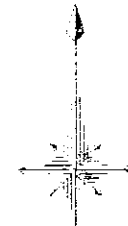
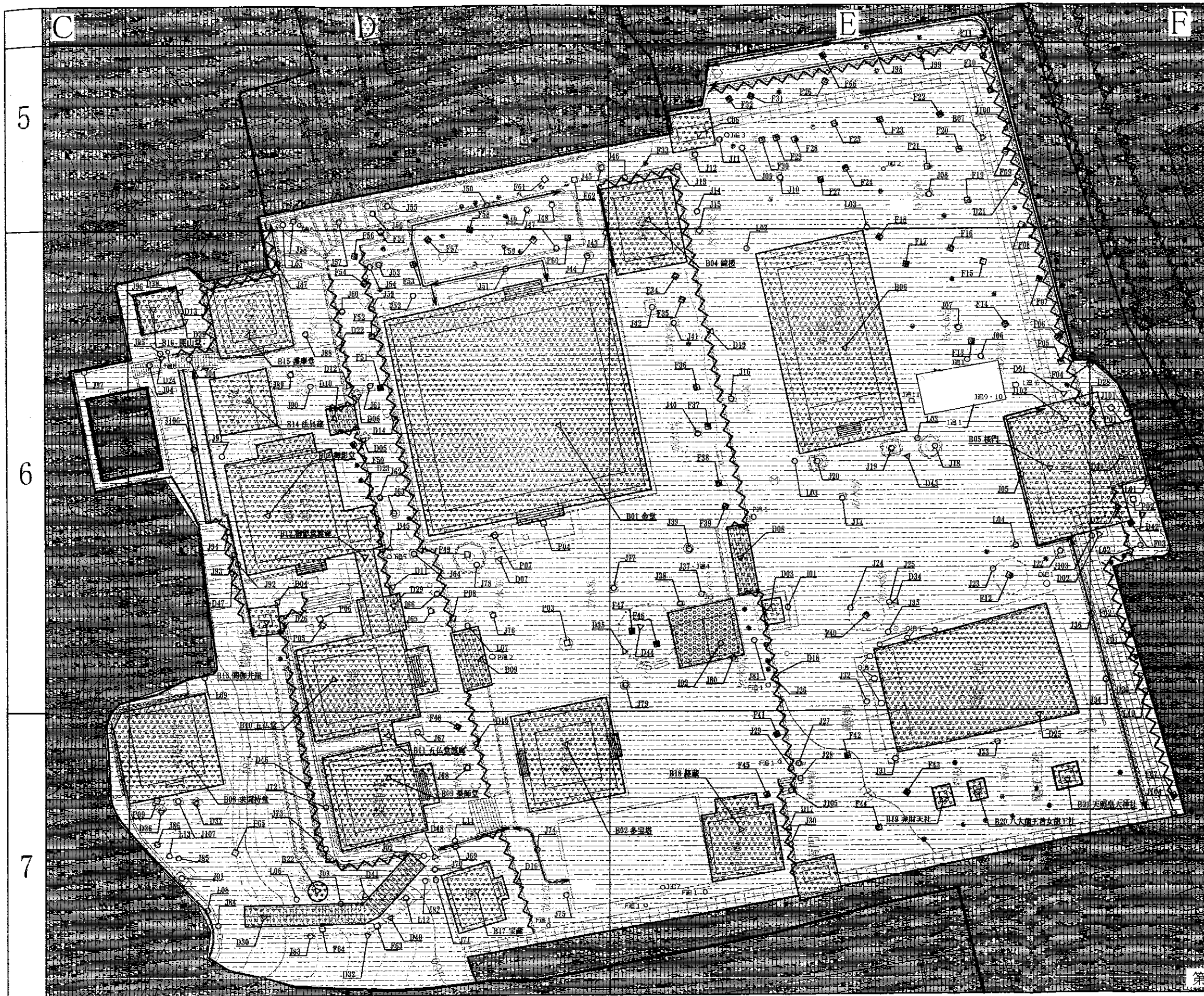
第12表 中心伽藍地区取扱基準

項目	第Ⅰ種保存管理区域及び物件	第Ⅱ・Ⅲ種保存管理物件
建築物の新設・増改築・移転・撤去	原則的にみとめない。ただし、第10表に基き宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用上、止むを得ず、他に手段がない場合は、現状変更をみとめる。上記によるものであっても地下遺構・景観に影響のない範囲に留める。	宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用に必要な場合はみとめる。この際、遺構・景観に影響のない範囲に留める。周囲の第Ⅰ種保存管理物件に馴染むものとする。
上下水道・パイプライン・その他水路等の新設・改修・撤去	新設は、原則的にみとめない。ただし、宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用上、止むを得ず、他に手段がない場合は、現状変更をみとめる。上記によるものであっても地下遺構・景観に影響のない範囲に留める。	該当なし。
木竹の植樹・伐採等	史跡の保存・管理・活用の範囲内でみとめる。ただし、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。	史跡の保存・管理・活用の範囲内でみとめる。ただし、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。
道路の新設・改良	原則的にみとめない	該当なし。
その他、構造物の設置・改修・撤去	原則的にみとめない。ただし、第10表に基き宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用上、止むを得ず、他に手段がない場合は、現状変更をみとめる。上記によるものであっても地下遺構・景観に影響のない範囲に留める。	宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用に必要な場合はみとめる。この際、遺構・景観に影響のない範囲に留める。周囲の第Ⅰ種保存管理物件に馴染むものとする。

指定文化財の保存修理	史跡の保存・管理・活用の範囲内でみとめる。ただし、遺構に対しては保存の措置をとる。	該当なし。
建造物内部の維持管理上必要な修理等	必要な範囲内でみとめる。ただし指定文化財においては、関係法令においてその定められた範囲内においてみとめる。	必要な範囲内でみとめる。
防災対策（集中豪雨・台風被害・土砂災害・土砂流出）	防災上必要な範囲内でみとめる。ただし、史跡の重要な構成要素としての建造物等の保存を尊重しつつ、史跡保存のための現状変更と調和を図る。上記によるものであっても、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。	必要な範囲内でみとめる。この際、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。周囲の第Ⅰ種保存管理物件に馴染むものとする。
防災対策（地震・火災）	防災上必要な範囲内でみとめる。ただし、史跡の重要な構成要素としての建造物等の保存を尊重しつつ、史跡保存のための現状変更と調和を図る。上記によるものであっても、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。	必要な範囲内でみとめる。この際、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。周囲の第Ⅰ種保存管理物件に馴染むものとする。

①中心伽藍地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理報告書	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
I a	B	01	金剛寺金堂	天野町1007番地	桁行七間 梁間七間	鎌倉 (元応2(1320))	—	慶長の大修理で本瓦葺きとした。昭和29年(1954)、屋根葺替、縁側、基壇、亀欄などを補修。平成5年から平成6年(1993-1994)防災施設事業(自動火災報知設備の全面取り替え)。平成21年から平成29年(2009-2017)保存修理。令和2年水屋根修理	木造	金剛寺	金剛寺	国指定有形文化財: 重文 S25.8.29 入母屋造り、本瓦葺き	E6	○		
I a	B	02	金剛寺多宝塔	天野町1007番地	三間多宝塔 こけらぶき	平安後期	—	慶長10年から慶長11年(1605-1606)に根本的な大修理がおこなわれた。嘉永4年(1851)上層屋根葺替の一部を修理着手。昭和13年(1938)には根本的修理。昭和14年(1939)に解体。昭和30年(1955)、昭和47年(1972)に屋根の修理が行われた。平成5年から平成6年(1993-1994)防災施設事業(自動火災報知設備の全面取り替え)。平成21年から平成29年(2009-2017)保存修理。	木造	金剛寺	金剛寺	金堂南側 国指定有形文化財: 重文 S25.8.29	E7	○		
I a	B	03	金剛寺御影堂	天野町1007番地	桁行四間、梁間四間	平安	—	慶長11年(1606)全面建替。明治30年(1897)に屋根の葺替修理。昭和25年(1950)に解体修理。平成6年(1994)に屋根の葺き替え・部分修理。平成5年から平成6年(1993-1994)に防災施設事業(自動火災報知設備の全面取り替え)。平成6年(1994)屋根葺替・部分修理(屋根葺き替え・建具等)。令和4年(2022)屋根小修理	木造	金剛寺	金剛寺	金堂西側 国指定有形文化財: 重文 S25.8.29 正面真三間の中央に向拝、背面に二間の庇がつき、宝形造、繪皮葺の屋根。	E6	○		躯体の経過観察が必要。維持保全のために屋根の修理が必要。
I a	B	04	金剛寺鐘楼	天野町1007番地	桁行三軒 梁間二間	室町前期	—	慶長11年(1606)に大修理。元禄13年(1700)8月、天保12年(1841)、昭和13年(1938)に根本的修理。昭和14年(1939)、平成3年(1991)解体修理。平成5年から平成6年(1993-19894)に防災施設事業(自動火災報知設備の全面取り替え)。平成21年から平成29年(2009-2017)保存修理。	木造	金剛寺	金剛寺	金堂北東側 国指定有形文化財: 重文 S25.8.29 重層 袴躰つき 屋根入母屋造 本瓦葺	F6	○		
I a	B	05	金剛寺楼門	天野町1007番地	三間一戸楼門	鎌倉時代後期	—	慶長10年(1605)大修理。元禄13年(1700)修理。昭和28年(1953)半解体修理	木造	金剛寺	金剛寺	国指定有形文化財: 重文 S25.8.29	F6	○		



1:400

凡例	
第I種保存管理区域	
第II種保存管理区域	
第III種保存管理区域	
第I種保存管理物件	大規模
	小規模 A, B, C, D, F
	庭園
第II種保存管理物件	大規模
	小規模 I, J, L
第III種保存管理物件	大規模
	小規模 E, F, H, K, M, N, O, P

※ 一は奥の範圍を示す。

第20図 ①中心伽藍地区

①中心伽藍地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理報告書	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
I a	B	06	金剛寺食堂	天野町1007番地	桁行七間 梁間三間	室町前期	—	慶長11年(1606)に根本修理。 元禄13年(1700)に修理、大正13年(1924)屋根の葺き替え。 昭和29年(1954)に屋根の解体修理。 平成5年から平成6年(1993-1994)に防災施設事業(自動火災報知設備の全面取り替え)。 平成7年(1995)に部分修理(屋根)。	木造	金剛寺	金剛寺	金堂東側 国指定有形文化財:重 文 S25.8.29 入母屋造本瓦葺、妻入 葺正面に檜皮葺の唐破 風をつける。 金堂東側(天野殿)	F6	○		躯体は軽微な修 理が必要。屋根 は維持保全のため の修理が必要。
I a	B	07	金剛寺薬地塀(二 所)	天野町1007番地	北方延114.5m 本瓦葺 北中門附属 一間薬師門 切妻造、本瓦葺	江戸(元禄13年 (1700))	—	平成12年(2000)に解体修理。 平成7年から平成9年(1995-1997)に保 存修理。 平成17年から平成22年(2005-2010) (様門、北門、南門/屋根葺替、部分 修理(木、左官)。 平成22年に雨落排水溝敷設。	木造	金剛寺	金剛寺	金剛寺境内周囲 国指定有形文化財 S48.3.30 北門・南門(薬師門)本 瓦葺き。土塀含む。 国指定有形文化財:重 文 R1.12.27	F5	○		一部破損
I a	B	08	金剛寺求聞持堂	天野町1007番地	桁行三間 梁間三間一重 入母屋造 檜瓦葺	江戸(元禄13年 (1700))	—	昭和59年から昭和61年(1984-1986)解 体修理。 平成30年(2018)台風被害復旧。	木造	金剛寺	金剛寺	五仏堂西側 国指定有形文化財 S48.3.30 入母屋造り檜瓦葺、背 面半間通り庇付 国指定有形文化財:重 文 R1.12.27	E7	○		
I a	B	09	金剛寺薬師堂	天野町1007番地	方三間一重 室形造 向拝一間 本瓦葺	桃山(慶長11年 (1606))	—	平成15年(2003)解体修理	木造	金剛寺	金剛寺	多宝塔西側 国指定有形文化財 S48.3.30 室形造 前面一間向 拝、本瓦葺、一部焼瓦 葺。 国指定有形文化財:重 文 R1.12.27	E7	○		
I a	B	10	金剛寺五仏堂	天野町1007番地	方三間一重 室形造正面庇付 向拝一間 檜皮葺	桃山(慶長11年 (1606))	—	平成12年から平成15年(2000-2003)屋 根葺替、部分修理。	木造	金剛寺	金剛寺	金堂南西側 国指定有形文化財 S48.3.30 室形造 前面一間通り 吹出し庇及び一間向拝 つき。檜皮葺 国指定有形文化財:重 文 R1.12.27	E6	○		

①中心伽藍地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理報告書	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き操状況
I a	B	11	金剛寺五仏堂南面渡廊	天野町1007番地	棧瓦葺	桃山(慶長11年(1606))	—	平成15年(2003)解体修理	木造	金剛寺	金剛寺	五仏堂と義師堂間の廊下 府指定有形文化財 S48.3.30 国指定有形文化財: 重文附 R1.12.27	E7	○		
I a	B	12	金剛寺五仏堂北面渡廊	天野町1007番地	檜皮葺	桃山 慶長	—	平成6年(1994)屋根修理	木造	金剛寺	金剛寺	御影堂と五仏堂間の廊下 府指定有形文化財 S48.3.30 国指定有形文化財: 重文附 R1.12.27	E6	○		躯体経過観察が必要。 屋根は維持保全のための修理が必要。
I a	B	13	金剛寺彌伽井屋	天野町1007番地	桁行一間 梁間一間 檜皮葺	桃山 慶長	—	平成5年(1993)屋根葺き替え 平成26年(2014)保存修理事業 平成30年(2018)保存修理事業	木造	金剛寺	金剛寺	御影堂南 府指定有形文化財 S48.3.30 唐破風造 国指定有形文化財: 重文 R1.12.27	E6	○		
I a	B	14	金剛寺法具藏	天野町1007番地	桁行、梁間各三間、切妻造本瓦造	桃山(慶長11年(1606))	—	平成19年(2007)に解体修理	木造	金剛寺	金剛寺	御影堂北 府指定有形文化財 S48.3.30 国指定有形文化財: 重文 R1.12.27	E6	○		
I a	B	15	金剛寺護摩堂	天野町1007番地	方三間、一重、宝形造、本瓦葺	桃山 慶長	—	平成19年(2007)に解体修理	木造	金剛寺	金剛寺	御影堂北 府指定有形文化財 S48.3.30 国指定有形文化財: 重文 R1.12.27	E6	○		
I a	B	16	金剛寺開山堂	天野町1007番地	方一間、一重、宝形造、こけら葺	江戸(元禄13年(1700))	—	平成19年(2007)解体修理 平成31年(2019)復旧	木造	金剛寺	金剛寺	護摩堂西 府指定有形文化財 S48.3.30 宝形造、棧瓦葺 国指定有形文化財: 重文 R1.12.27	E6	○		躯体経過観察が必要。 屋根は維持保全のための修理が必要。
I a	B	17	金剛寺宝藏	天野町1007番地	庇付、棧瓦葺	江戸(元禄13年(1700))	—	—	木造	金剛寺	金剛寺	多宝塔南西 府指定有形文化財 S48.3.30 国指定有形文化財: 重文 R1.12.27	E7	○		
I a	B	18	金剛寺経藏	天野町1007番地	土蔵、桁行5.9m、梁間4.9m切妻造、檜屋根、北面庇付、棧瓦葺	江戸(元禄13年(1700))	—	平成2年から平成3年(1990-1991)屋根葺替、部分修理(塙屋・基礎・木・左官) 平成22年(2010)部分修理(蟻害による木・左官)、保存修理事業	木造	金剛寺	金剛寺	多宝塔南東 府指定有形文化財 S48.3.30 国指定有形文化財: 重文 R1.12.27	F7	○		
I a	B	19	金剛寺弁財天社本殿	天野町1007番地	一間社流造見世棚造、檜皮葺	江戸(元禄13年(1700))	—	昭和63年(1988)解体修理 昭和62年(1987)屋根葺替・部分修理(養蚕)。 平成21年(2009)屋根修理。	木造	金剛寺	金剛寺	龍王池南 府指定有形文化財 S48.3.30 国指定有形文化財: 重文 R1.12.27	F7	○		

①中心伽藍地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理報告書	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況	
Ia	B	20	金剛寺八大龍王 善女龍王社本殿	天野町1007番地	一間社春日造見 世柳造、檜皮葺	江戸 (元禄13年 1700)	—	昭和62年(1987)屋根 葺・部分修理(塗装)。 平成21年屋根修理。	木造	金剛寺	金剛寺	龍王池南 府指定有形文化財 S48.3.30 国指定有形文化財:重文 R1.12.27	F7	○			
Ia	B	21	金剛寺天照皇大 神社本殿	天野町1007番地	一間社春日造見 世柳造、檜皮葺	江戸 (元禄13年 1700)	—	昭和62年(1987)屋根 葺・部分修理(塗装)。 令和4年度小修理。 平成21年屋根修理。	木造	金剛寺	金剛寺	龍王池南 府指定有形文化財 S48.3.30 国指定有形文化財:重文 R1.12.27	F7	○			
Ia	B	22	金剛寺のすぎ	天野町1007番地	目通165cm H: 30m位	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺	府指定天然記念物 S48.3.30	E7				
Ia	D	01	石燈籠	天野町1007番地	縦 0.66m 横 0.66m 高さ 2.75m	元禄11年(1698)	—	—	石	金剛寺	金剛寺	中門塙外北 (一対のうち) 「秦寄進 石燈籠」	F6		30		
Ia	D	02	石燈籠	天野町1007番地	幅=0.66m 奥行=0.66m 高さ=2.75m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	中門塙外南側 (一対のうち) 「永代常夜燈」	F6		31		
Ia	D	03	盥盛(手洗鉢)	天野町1007番地	縦 1.06m 横 1.50m 高さ 0.74m 内部 縦 0.85m 横 1.21m	元禄13年(1700) 11月28日	—	—	石(花崗岩)	金剛寺	金剛寺	金堂への石段左側下 裏「秦寄進 金剛寺 盥盛」 側面「元禄十三年庚辰十一月廿八日」	F6	○	42	近年の修理履歴 あり	
Ia	D	04	石造花立	天野町1007番地	横 0.23m 高さ 0.75m	文政4年3月 (1821)	—	—	石	金剛寺	金剛寺	五仏堂 東側 御影堂左前石造花立 裏「四鈿燈」 裏「文政四巳年三月建立」	D6		66		
Ia	D	05	石燈籠	天野町1007番地	幅 0.65m 高さ 1.96m	嘉永3戊午(1850) 3月	—	—	石	金剛寺	金剛寺	金堂 南側 御影堂跡石燈籠 正面「常夜燈」 側面「大師講中 河劔 泉劔」	D6		71		
Ia	D	06	石燈籠	天野町1007番地	幅 0.66m 高さ 1.93m	嘉永3戊午(1850) 3月	—	—	石	金剛寺	金剛寺	金堂 西側 御影堂跡石燈籠 正面「常夜燈」 側面「大師講中 河劔 泉劔」 裏「嘉永三戊午三月」	D6		72		
Ia	D	07	水鉢	天野町1007番地	幅 2.2m 奥行 1.8m 高さ 1.05m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	金堂 南側	D6				
Ia	D	08	階段	天野町1007番地	幅=7.15m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	境内東西をつなぐ石段	E6	○			
Ia	D	09	階段	天野町1007番地	幅=6.30m 奥行 1.8m 高さ 0.85m x 2ヶ所	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	金堂南側、五仏堂等へ至る石段	D6	○			
Ia	D	10	階段	天野町1007番地	—	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	御影堂 北東側	D6	○			
Ia	D	11	石積	天野町1007番地	延長約15m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	切石積 最大高さ2.0m 亀甲蒔し	D6				
Ia	D	12	石積	天野町1007番地	延長約15m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	切石積 最大高さ1.6m 一部積直し	D6				経過観察が必要

①中心伽藍地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理報告書	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況	
I a	D	13	石積	天野町1007番地	延長約58m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	切石積 最大高さ2.1m	D6			軽微な修理が必要	
I a	D	14	石積	天野町1007番地	延長約39m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	切石積 最大高さ1.6m	D6	○			
I a	D	15	石積	天野町1007番地	延長約11m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	切石積 最大高さ1.6m	D6,D7	○			
I a	D	16	石積	天野町1007番地	延長約13m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	平積 最大高さ1.6m	D7	○			緊急の積み直しが必要
I a	D	17	石積	天野町1007番地	延長約10m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	切石積 最大高さ1.4m (亀甲崩し)	E7	○			
I a	D	18	石積	天野町1007番地	延長約22m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	切石積 最大高さ1.4m (亀甲崩し)	E6	○			破損状況を調査の上、適切な修理が必要
I a	D	19	石積	天野町1007番地	延長約44m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	切石積 最大高さ1.4m (亀甲崩し)	E6	○			経過観察が必要
I a	D	20	石積	天野町1007番地	延長約31m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	谷落積(雑然) 最大高さ1.0m	F6,7	○			一部、石が崩落破損状況を調査の上、適切な修理が必要
I a	D	21	石積	天野町1007番地	延長約68m	—	—	平成28年から平成30年(2016-2018)一部修理	石	金剛寺	金剛寺	平積 最大高さ2.0m 一部積直し	E5,6	○			
I a	D	22	石積	天野町1007番地	延長約16m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	切石積 最大高さ1.6m	D6	○			
I a	D	23	石積	天野町1007番地	延長約20m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	切石積 最大高さ2.0m	D6	○			
I a	D	24	手洗鉢	天野町1007番地	幅 0.60m 奥行 0.45m 高さ 0.30m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	關山堂南側	D6				
I a	A	25	龍王池	天野町1007番地	—	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺	樓門南西境内池 河内名所図会(享和元年1801)にあ る	E6	○			
I a	D	26	石積	天野町1007番地	延長約10m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	切石積 最大高さ1.5m	D6				
I a	D	27	石積	天野町1007番地	延長約4m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	切石積 最大高さ1.5m	F6				
I a	D	28	石積	天野町1007番地	延長約4m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	切石積 最大高さ1.5m	F6				
I a	D	29	階段	天野町1007番地	—	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	御影堂渡廊下前石段(5段)花崗岩	D6	○			
I c	D	30	階段	天野町1007番地	幅 2.17 m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	求聞寺堂へ至る石段 石欄手階付 H=0.95m	D7				
I a	D	31	階段	天野町1007番地	幅=6.40m 幅=0.48m 奥行=0.48m 高さ=1.35m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	樓門前石段 ※手階付 H=0.95m x 2	F6	○			

①中心加藍地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理報告書	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
I c	D	32	標石(四角柱)	天野町1007番地	縦 0.24m 横 0.18m 高さ 0.95m	昭和13年(1938) 11月	—	—	石	金剛寺	金剛寺	求聞持堂参詣道標石 正面「石段獻設發起人」小谷宇吉 堀力吉 横野彦治郎 裏「昭和十三年十一月作之」	D7		83	
I c	D	33	板碑	天野町1007番地	縦=0.51m 横=0.79m 高さ=2.12+0.8m	昭和10年(1935) 10月	—	—	石	金剛寺	金剛寺	板碑 表「勤王護國之寺 昭和乙亥五月大楠公六百年追悼記念 於天野行宮陸軍大將荒木貞雄謹畫花押」 p87~89参照	E6		40	移設
I c	D	34	力石	天野町1007番地	幅=0.30m 奥行=0.60m 高さ=0.30m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	龍王池 裏側 境内 表「力石」 裏「昭和十年九月二十二日 石駒」	E6		41	
I c	D	35	石柵	天野町1007番地	幅=20cm 奥行=20cm 高さ=0.50m×4力所	大正14年(1925)4 月	—	—	石	金剛寺	金剛寺	金堂前石柵 1.石柵大(小)一組×14組で柵を囲む 2.大小何れも四角柱で頭部は低い角錐形 3.石柱には夫々堺市八丈忠平他58名の寄附 者名が刻まれている。	E6		47	
I c	D	36	石燈籠	天野町1007番地	縦 0.60m 横 0.55m 高さ 0.1.95m	明治41年(1908)7 月21日	—	—	石	金剛寺	金剛寺	求聞持堂前 御影堂脇石燈籠	D7		73	
I c	D	37	石燈籠	天野町1007番地	縦 0.60m 横 0.55m 高さ 0.1.95m	明治41年(1908)7 月21日	—	—	石	金剛寺	金剛寺	求聞持堂前 観月亭下石燈籠	D7		74	
I c	D	38	石燈籠	天野町1007番地	幅 0.50m 奥行=0.43m 高さ 1.55m	明治32年(1899)5 月	—	—	石	金剛寺	金剛寺	開山堂前石燈籠 正面「唐尼院澤泰覺 側面「奉寄進開山廟前」 側面「明治三十二年五月」	D6		77	
I c	D	39	石製四角柱立	天野町1007番地	縦 0.15m 横 0.16m 高さ 0.76m	明治32年(1899)5 月	—	—	石	金剛寺	金剛寺	開山堂前石製四角柱立 正面「澤秀實建之」 側面「明治三十二年五月」	D6		78	
I c	D	40	石燈籠	天野町1007番地	縦 0.60m 横 0.60m 高さ 2.05m	昭和12年(1937)	—	—	石	金剛寺	金剛寺	薬師堂階段入り口 八十八所参拝昇り口石燈籠 正面「奉納燈」 裏「昭和十二年十一月吉日 坂元タツノ」	D7		84	
I c	D	41	石燈籠	天野町1007番地	縦 0.60m 横 0.60m 高さ 2.05m	昭和12年11月 (1937)	—	—	石	金剛寺	金剛寺	薬師堂階段入り口 八十八所参拝昇り口石燈籠 正面「奉納燈」 裏「大阪府大正区泉尾 施主 坂元工作所」	D7		85	
I c	D	42	標識石	天野町1007番地	(四角頂部四角錐) 縦 0.46m 横 0.46m 高さ 3.15m	昭和13年(1938)	—	—	花崗岩	金剛寺	金剛寺	中門下左側標識石 正面「史蹟金剛寺境内」左面「昭和十三年 四月建設」 右面「史蹟名勝天然記念物保存法二依り 昭 和九年三月文部大臣指定」	F6		35	
I b	D	43	標識石	天野町1007番地	縦 0.18m 横 0.14m 高さ 1.50m	大正15年(1926)9 月	—	—	花崗岩	金剛寺	金剛寺	天野殿(倉堂)標識石(四角柱) 正面「天野殿 青朝六年間常御殿」 左面「堺市 河盛安兵衛」右面「大正十五年 九月建立」	E6		38	

①中心伽藍地区

種別	項目	四面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理報告書	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き操状況
Ic	D	44	標識石(四角柱)	天野町1007番地	縦 0.23m 横 0.15m 高さ 1.00m	大正 14年(1925) 4月	—	—	花崗岩	金剛寺	金剛寺	金堂前標識石(四角柱) 正面「後村上天皇 御宇 楠樓 石柵建 設発起人、堺市米谷派一」左面「大 正十四年四月建立」右面「周旋人 小谷宇吉」裏面「金剛寺第七十二世 現置後継代」	D6		46	
Ib	D	45	標石(四角柱)	天野町1007番地	縦 0.18m 横 0.15m 高さ 1.38m	大正 15年(1926) 9月	—	—	石	金剛寺	金剛寺	御影堂標石 正面「真如親王筆弘法大師御影堂 南朝後村上天皇親月亭」 裏「大正十五年九月建立」 側面「堺市河盛安兵衛」	D6		67	
Ic	D	46	石積	天野町1007番地	延長約29m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	谷落積(雑然) 最大高さ0.8m	C6,C7			
Ic	D	47	石積	天野町1007番地	延長約11m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	谷落積(雑然) 最大高さ0.6m	D6			
Ic	D	48	境界石(角柱)	天野町1007番地	縦 0.15m 横 0.15m 高さ 0.57m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	境内 裏「史蹟境界 裏「文部省」	D7		57	
II	I	01	手洗場	天野町1007番地	妻側 1.8m 桁行 2.39m	—	—	平成29年(2017)修理	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	金堂南東屋根付、切妻造、椽瓦葺	E6	○		
II	I	02	納経所	天野町1007番地	—	—	—	—	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	金堂南東	E6			滅失
II	J	01	石橋(左右欄干)	天野町1007番地	縦 1.42m 横 0.98m	—	—	令和4年(2022)修復	石	金剛寺	金剛寺	求聞持堂前 求聞持堂前方横石橋(左右欄干) 左「提持橋」 右「昭和四十三年十月 金剛寺為雄 代」 散水鉢付き	D7		92	
II	J	02	石量	天野町1007番地	長さ 2.05m 幅 1.6m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	薬師道階段入り口 八十八所参拝昇り口石燈籠 正面「奉納燈」 裏「大阪市大正区泉尾 施主 坂元工 作所」	D7			
II	J	03	石柵	天野町1007番地	—	—	—	—	石、チェーン	金剛寺	金剛寺	光厳帝陵に至る階段の柵	D6			
II	J	04	階段	天野町1007番地	幅 1.58m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	光厳帝陵に至る階段	D6			
II	J	05	御溝	天野町1007番地	幅 0.45m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	楼門西側 グレーチング付	E6			
II	J	06	放水銃	天野町1007番地	幅 0.50m 周長 0.64m 高さ 1.15m	—	—	—	ステンレス	金剛寺	金剛寺	楼門北西側	E6			
II	J	07	放水銃	天野町1007番地	幅 0.66m 奥行 0.60m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	楼門北西側 地中埋設	E6			
II	J	08	放水銃	天野町1007番地	幅 0.66m 奥行 0.60m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	楼門北西側 地中埋設	E5			
II	J	09	放水銃	天野町1007番地	幅 0.50m 周長 0.64m 高さ 1.15m	—	—	—	ステンレス	金剛寺	金剛寺	食堂北側	E5			

①中心加藍地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理報告書	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
II	J	10	ポンプ庫	天野町1007番地	幅 1.40m 奥行き 0.90m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	食堂北側 地中埋設	E5			
II	J	11	引込柱	天野町1007番地	φ 0.08m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	食堂北側 分電盤、照明付	E5			
II	J	12	マンホール	天野町1007番地	φ 0.71m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	食堂北西	E5			
II	J	13	会所	天野町1007番地	幅 0.54m φ 0.54m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	食堂北西	E5			
II	J	14	車止め	天野町1007番地	幅 0.70m 高さ 0.65m	—	—	—	ステンレス	金剛寺	金剛寺	食堂北西 「進入禁止」	E5			
II	J	15	放水銃	天野町1007番地	幅 0.66m 奥行き 0.60m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	食堂北西 地中埋設	E6			
II	J	16	放水銃	天野町1007番地	幅 0.66m 奥行き 0.60m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	食堂西側 地中埋設	E6			
II	J	17	放水銃	天野町1007番地	幅 0.66m 奥行き 0.60m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	食堂南側 地中埋設	E6			
II	J	18	花壇	天野町1007番地	高さ 0.20m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	食堂南真	E6			撤去
II	J	19	花壇	天野町1007番地	高さ 0.20m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	食堂南側	E6			撤去
II	J	20	花壇	天野町1007番地	高さ 0.20m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	食堂南側	E6			撤去
II	J	21	塩ビパイプ	天野町1007番地	φ 0.08m 高さ 0.03m	—	—	—	塩ビ	金剛寺	金剛寺	食堂南真 地中埋設	E6			撤去
II	J	22	足洗場	天野町1007番地	幅 1.07m 周長 1.50m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	楼門南西 水栓2個付	E6			滅失
II	J	23	木柵	天野町1007番地	高さ 0.70m	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	楼門南西	E6			
II	J	24	木柵	天野町1007番地	高さ 0.70m	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	食堂南	E6			
II	J	25	放水銃	天野町1007番地	幅 0.50m 奥行き 0.64m 高さ 1.10m	—	—	—	ステン	金剛寺	金剛寺	食堂南	E6			
II	J	26	塩ビパイプ	天野町1007番地	φ 0.06m	—	—	—	塩ビ	金剛寺	金剛寺	龍王池西側 ハルブ付	E6			
II	J	27	消火栓	天野町1007番地	φ 0.14m 高さ 0.90m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	龍王池西側	E7			
II	J	28	格納箱	天野町1007番地	幅 0.60m 奥行き 0.30m 高さ 1.20m	—	—	—	ステン	金剛寺	金剛寺	龍王池西側	E7			
II	J	29	ヒューム管	天野町1007番地	φ 0.38m 高さ 0.75m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	龍王池西側 塩ビパイプ付	E7			

①中心伽藍地区

種別	項目	図面 番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理報告書	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面 位置	絵図	備考	き損状況
II	J	30	VU管	天野町1007番地	周長 0.025m 長さ 0.60m	—	—	—	塩ビ	金剛寺	金剛寺	南門前	E7			
II	J	31	ポンプ一式	天野町1007番地	幅 0.21m 奥行き 0.17m 高さ 0.32m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	龍王池西側	E7			
II	J	32	藤棚	天野町1007番地	幅 2.90m 奥行き 8.00m 高さ 2.80m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	龍王池西側	E6			
II	J	33	鉄柵	天野町1007番地	高さ 0.70m	—	—	—	竹	金剛寺	金剛寺	龍王池周囲	E7			
II	J	34	ヒューム管	天野町1007番地	φ 0.25m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	楼門南側扉下 排水管	F6			
II	J	35	止水栓	天野町1007番地	φ 0.15m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	龍王池北西	E6			
II	J	36	御溝	天野町1007番地	幅 0.75m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	龍王池北西 排水コンビ管2ヶ付	F6			
II	J	37	止水栓	天野町1007番地	φ 0.19m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	金堂南東 2ヶ所	E6			
II	J	38	消火栓	天野町1007番地	幅 0.45m 奥行き 0.34m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	金堂南東	E6			
II	J	39	マンホール(電 気)	天野町1007番地	φ 0.71m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	金堂南東	E6			
II	J	40	放水銃	天野町1007番地	幅 0.66m 奥行き 0.60m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	金堂東側 地中	E6			
II	J	41	放水銃	天野町1007番地	幅 0.66m 奥行き 0.60m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	金堂東側 地中	E6			
II	J	42	ポンプ庫	天野町1007番地	幅 1.40m 周長 0.90m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	金堂東側	E6			
II	J	43	御溝	天野町1007番地	幅 0.45m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	金堂北東 グレーチング付	D6			
II	J	44	マンホール(電 気)	天野町1007番地	φ 0.71m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	金堂北東	D6			
II	J	45	マンホール(電 気)	天野町1007番地	φ 0.71m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	金堂北東	D6			
II	J	46	御溝	天野町1007番地	幅 0.55m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	金堂北東	E5			
II	J	47	花壇	天野町1007番地	高さ 0.20m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	金堂北東	E6			
II	J	48	放水銃	天野町1007番地	幅 0.45m 奥行き 0.73m 高さ 1.20m	—	—	—	ステン	金剛寺	金剛寺	金堂北東	D5			
II	J	49	引込柱	天野町1007番地	奥行き 0.13m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	金堂北側 外扉付	D5			

①中心伽藍地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理報告書	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
II	J	50	側溝	天野町1007番地	幅 0.50m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	金堂北側	D5			
II	J	51	側溝	天野町1007番地	幅 0.50m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	金堂北側	D6			
II	J	52	水栓柱	天野町1007番地	高さ 0.65m	—	—	—	塩ビ	金剛寺	金剛寺	金堂北西	D6			
II	J	53	井戸	天野町1007番地	φ 0.85m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	金堂北西 ポンプ付	D6			
II	J	54	放水銃	天野町1007番地	幅 0.45m 奥行き 0.73m 高さ 1.20m	—	—	—	ステンレス	金剛寺	金剛寺	金堂北西	D6			
II	J	55	マンホール(電 気)	天野町1007番地	φ 0.43m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	金堂北西	D5			
II	J	56	仕切弁	天野町1007番地	φ 0.32m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	金堂北西	D5			
II	J	57	仕切弁	天野町1007番地	φ 0.19m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	金堂北西 2ヶ所 会所付	D5			
II	J	58	消火栓	天野町1007番地	幅 0.65m 奥行き 0.28m 高さ 1.35m	—	—	—	ステンレス	金剛寺	金剛寺	金堂北西	D5			
II	J	59	ボックス(電 気)	天野町1007番地	幅 0.33m 奥行き 0.14m 高さ 0.37m	—	—	—	プラ	金剛寺	金剛寺	金堂北西	D5			
II	J	60	外灯	天野町1007番地	φ 0.13m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	金堂北西	D6			
II	J	61	放水銃	天野町1007番地	幅 0.66m 奥行き 0.60m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	金堂北西 地中	D6			
II	J	62	外灯	天野町1007番地	φ 0.13m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	金堂南西	D6			
II	J	63	マンホール(電 気)	天野町1007番地	φ 0.43m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	金堂南西	D6			
II	J	64	放水銃	天野町1007番地	幅 0.66m 奥行き 0.60m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	金堂南西 地中	D6			
II	J	65	放水銃	天野町1007番地	幅 0.66m 奥行き 0.60m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	金堂南西 地中	D6			
II	J	66	水栓柱	天野町1007番地	高さ 0.75m	—	—	—	塩ビ	金剛寺	金剛寺	金堂南西	D6			
II	J	67	ポンプ庫	天野町1007番地	幅 1.30m 奥行き 0.90m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	薬師堂北東	D7			
II	J	68	放水銃	天野町1007番地	幅 0.66m 奥行き 0.60m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	薬師堂東 地中	D7			

①中心加蓋地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理報告書	材質	所有者	管理者	群細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
II	J	69	御溝	天野町1007番地	幅 0.40m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	薬師堂南東	D7			
II	J	70	消火栓	天野町1007番地	φ 0.14m 高さ 0.90m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	薬師堂南東	D7			
II	J	71	ホース格納箱 消火栓	天野町1007番地	幅 0.60m 奥行き 0.30m 高さ 1.10m	—	—	—	ステン	金剛寺	金剛寺	薬師堂南東	D7			
II	J	72	U字側溝	天野町1007番地	幅 0.24m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	薬師堂西	D7			
II	J	73	ひらい針(ひらい 針ケーブル)	天野町1007番地	φ 0.035m	—	—	—	VP	金剛寺	金剛寺	薬師堂	D7			
II	J	74	U字側溝	天野町1007番地	幅 0.30m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	多宝塔南 会所付	D7			
II	J	75	放水銃	天野町1007番地	幅 0.50m 奥行き 0.64m 高さ 1.13m	—	—	—	ステン	金剛寺	金剛寺	多宝塔南	D7			
II	J	76	放水銃	天野町1007番地	幅 0.66m 奥行き 0.60m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	金堂南 地中	D6			
II	J	77	放水銃	天野町1007番地	幅 0.66m 奥行き 0.60m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	金堂南 地中	E6			
II	J	78	花壇	天野町1007番地	高さ 0.60m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	金堂南	D6			
II	J	79	マンホール(電 気)	天野町1007番地	φ 0.71m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	多宝塔東	E6			
II	J	80	放水銃	天野町1007番地	幅 0.50m 奥行き 0.64m 高さ 1.13m	—	—	—	ステン	金剛寺	金剛寺	多宝塔東	E6			
II	J	81	倉所	天野町1007番地	幅 0.28m 奥行き 0.28m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	多宝塔東 散止水栓付φ 0.18	E6			
II	J	82	鉄柱	天野町1007番地	幅 0.08m 奥行き 0.08m 高さ 0.90m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	薬師堂南	D7			
II	J	83	竹柵	天野町1007番地	高さ 1.10m	—	—	—	竹	金剛寺	金剛寺	薬師堂南	D7			滅失
II	J	84	U字溝	天野町1007番地	幅 0.24m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	薬師堂南西 会所付	D7			ほぼ砂利で埋 まっている
II	J	85	水栓柱	天野町1007番地	高さ 0.55m	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺	求聞寺堂南	D7			
II	J	86	消火栓	天野町1007番地	幅 0.65m 周長 0.28m 長さ 1.40m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	求聞寺堂南	D7			
II	J	87	U字溝	天野町1007番地	幅 0.15m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	鷹摩堂北東 会所付	D6			

①中心伽藍地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理報告書	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
II	J	88	空気弁	天野町1007番地	幅 0.55m 奥行き 0.35m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	護摩堂 東側	D6			
II	J	89	放水銃	天野町1007番地	幅 0.66m 奥行き 0.60m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	護摩堂 南側 地中	D6			
II	J	90	ポンプ庫	天野町1007番地	幅 1.30m 奥行き 0.90m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	護摩堂 南側	D6			
II	J	91	水関係	天野町1007番地	幅 0.16m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	御影堂北西 5ヶ所	D6			
II	J	92	U字溝	天野町1007番地	幅 0.25m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	御影堂西	D6			
II	J	93	消火管	天野町1007番地	奥行き 0.16m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	御影堂西	D6			
II	J	94	塩ビパイプ	天野町1007番地	φ 0.06	—	—	—	塩ビ	金剛寺	金剛寺	御影堂西	D6			
II	J	95	境界石	天野町1007番地	幅 0.13m 奥行き 0.13m 高さ 0.16m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	開山堂 南 4ヶ所	D6			
II	J	96	側溝	天野町1007番地	幅 0.37m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	開山堂 西	D6			
II	J	97	側溝	天野町1007番地	幅 0.30m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	開山堂 西	C6			
II	J	98	L字側溝	天野町1007番地	幅 0.35m	—	—	—	コンブロック	金剛寺	金剛寺	庭園南側通路	E5			
II	J	99	側溝	天野町1007番地	幅 0.55m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	庭園南側通路	E5			
II	J	100	側溝	天野町1007番地	幅 0.30m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	築垣下	E5			
II	J	101	鉄柱	天野町1007番地	幅 0.08m 周長 0.08m 高さ 0.90m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	戒之橋西詰南西	F6			
II	J	102	セキュリティセン サー	天野町1007番地	幅 0.10m 奥行き 0.15m 高さ 1.15m	—	—	—	プラスチック	金剛寺	金剛寺	楼門横	E6			
II	J	103	セキュリティセン サー	天野町1007番地	幅 0.10m 奥行き 0.15m 高さ 1.15m	—	—	—	プラスチック	金剛寺	金剛寺	楼門横	F6			
II	J	104	境界石	天野町1007番地	幅 0.16m 奥行き 0.16m 高さ 0.30m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	南駐車場西	F7			
II	J	105	石段	天野町1007番地	—	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺		E7			
II	J	106	擁壁	天野町1007番地	延長約16m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	最大高さ3.3m	F7			

①中心加藍地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理報告書	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
II	J	107	線香立て	天野町1007番地	縦 0.40m 横 0.26m 高さ 1.30m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	樓門下 裏「下葉」	F7		28	
II	L	01	標石	天野町1007番地	屋根付標識板 基礎石 幅1.4m、 奥行き 2.3m 高さ	—	—	—	花崗岩	金剛寺	金剛寺	樓門北 史蹟 金剛寺境内の説明板	F6		29	
II	L	02	揭示板	天野町1007番地	縦 0.15m 横 0.15m 高さ 0.50m	—	—	—	花崗岩	金剛寺	金剛寺	天野殿(食堂)境内標石 裏「食堂境界」裏「文部省」	E5E6		37	
II	L	03	境内標石	天野町1007番地	縦 1.00m 横 高さ 2.20m	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	天野殿向い側 屋根付木造揭示板 大阪府指定文化財 金剛寺の説明板 p84参照	E6		39	撤去
II	L	04	揭示板	天野町1007番地	縦 0.16m 横 0.15m 高さ 0.64m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	鐘楼北西湖際境界石 正面「文部省」	D6		82	
II	L	05	境界石	天野町1007番地	縦 0.60m 高さ 1.70m	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	揭示板 「大阪府天然記念物指定 金剛寺の杉」	D7		86	破損(板が曲 がっている)老朽 化
II	L	06	揭示板	天野町1007番地	幅 0.24m 高さ 1.75m	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	金堂南西 コミは各自でお持ち帰り下さい	D6			基礎のみ
II	L	07	看板	天野町1007番地	幅 0.12m 風長 0.12m 高さ 0.45m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	求聞持堂南 (正面)大阪府 (裏面)境界	D7			
II	L	08	境界石	天野町1007番地	幅 0.12m 風長 0.12m 高さ 0.40m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	求聞持北東 (正面)大阪府 (裏面)境界	D6			
II	L	09	境界石	天野町1007番地	幅 0.24m 高さ 1.80m	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	南側駐車場北西 コミは各自でお持ち帰り下さい	F6			
II	L	10	看板	天野町1007番地	縦 0.90m 横 0.60m 高さ 1.50m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	求聞持堂前 求聞持堂の線香立 (正面)天野山 掃部会 講佛講 婦人会 運照会 昭和四十三年十月廿一日 七十五世 為雄代	D7		89	
III	J	107	線香立	天野町1007番地	縦 0.32m 横 0.13m 高さ 1.52m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	境内道標 正面「この上新四國八十八ヶ所霊場 一巡時間 約四 十分 みちのり 九町(約一軒)」 裏「願主 富田林南大伴 福田シゲノ」	D7		87	
III	L	11	道標(四角柱石)	天野町1007番地	縦 0.36m 横 0.31m 高さ 2.10+0.80m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	八十八ヶ所上りの標柱石 左側面「発起人 芳名刺愛」 正面「天野山八十八箇所之霊場」 右側面「昭和四十三年十月廿一日建立 金剛寺七十五 世為雄代」	D7		88	
III	L	12	標柱石	天野町1007番地	幅 0.125m 奥行き 0.145m 高さ 0.90m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	求聞持堂前標道標 「へんろ道」	D7		91	

①中心伽藍地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理報告書	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き納状況
Ⅲ	F	01	モミジ	天野町1007番地	C-20	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	二本立	F6			
Ⅲ	F	02	サクラ	天野町1007番地	C-30	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	二本立	F6			
Ⅲ	F	03	モミジ	天野町1007番地	C-30	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	二本立	F6			
Ⅲ	F	04	クスノキ	天野町1007番地	C-55	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		E6,F6			
Ⅲ	F	05	サクラ	天野町1007番地	C-20	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		E6			
Ⅲ	F	06	サクラ	天野町1007番地	C-25	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	二本立	E6			
Ⅲ	F	07	サクラ	天野町1007番地	C-30	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	三本立	E6			
Ⅲ	F	08	サルスベリ	天野町1007番地	C-15	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		E5			
Ⅲ	F	09	モミジ	天野町1007番地	C-30	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		E5			
Ⅲ	F	10	モミジ	天野町1007番地	C-20	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	三本立	E5			
Ⅲ	F	11	サクラ	天野町1007番地	C-30	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	二本立	E5			
Ⅲ	F	12	シダレザクラ	天野町1007番地	C-40	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	二本立	E6			
Ⅲ	F	13	モミジ	天野町1007番地	C-40	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	四本立	E6			
Ⅲ	F	14	スギ	天野町1007番地	C-35	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		E6			
Ⅲ	F	15	スギ	天野町1007番地	C-55	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		E6			
Ⅲ	F	16	モミジ	天野町1007番地	C-30	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		E6			
Ⅲ	F	17	モミジ	天野町1007番地	C-20	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		E6			
Ⅲ	F	18	サクラ	天野町1007番地	C-30	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	二本立	E6			
Ⅲ	F	19	スギ	天野町1007番地	C-30	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		E5			
Ⅲ	F	20	モミジ	天野町1007番地	C-15	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		E5			

①中心伽藍地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理報告書	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
Ⅲ	F	21	スギ	天野町1007番地	C-60	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		E5			
Ⅲ	F	22	イチヨウ	天野町1007番地	C-55	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		E5			
Ⅲ	F	23	モミジ	天野町1007番地	C-15	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		E5			
Ⅲ	F	24	モミジ	天野町1007番地	C-15	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	二本立	E5			
Ⅲ	F	25	サクラ	天野町1007番地	C-25	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	二本立	E5			
Ⅲ	F	26	サクラ	天野町1007番地	C-20	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		E5			
Ⅲ	F	27	モミジ	天野町1007番地	C-25	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	三本立	E5			
Ⅲ	F	28	サクラ	天野町1007番地	C-15	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	二本立	E5			
Ⅲ	F	29	モミジ	天野町1007番地	C-20	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		E5			
Ⅲ	F	30	モミジ	天野町1007番地	C-30	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	三本立	E5			
Ⅲ	F	31	モミジ	天野町1007番地	C-15	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		E5			
Ⅲ	F	32	シダレザクラ	天野町1547番地	C-40	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		E5			
Ⅲ	F	33	サクラ	天野町1007番地	C-20	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	二本立	E5			
Ⅲ	F	34	サクラ	天野町1007番地	C-25	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	二本立	E6			
Ⅲ	F	35	サクラ	天野町1007番地	C-30	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	二本立	E6			
Ⅲ	F	36	サルスベリ	天野町1007番地	C-15	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		E6			
Ⅲ	F	37	サクラ	天野町1007番地	C-20	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		E6			
Ⅲ	F	38	ウメ	天野町1007番地	C-30	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	三本立	E6			
Ⅲ	F	39	クロマツ	天野町1007番地	C-20	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		E6			
Ⅲ	F	40	シダレザクラ	天野町1007番地	C-30	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	三本立	E6			

①中心伽藍地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理報告書	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
Ⅲ	F	41	サクラ	天野町1007番地	C-40	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	四本立	E7			
Ⅲ	F	42	サクラ	天野町1007番地	C-35	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	二本立	E7			
Ⅲ	F	43	サクラ	天野町1007番地	C-20	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	二本立	E7			
Ⅲ	F	44	モミジ	天野町1007番地	C-25	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		E7			
Ⅲ	F	45	モミジ	天野町1007番地	C-30	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		E7			
Ⅲ	F	46	サクラ	天野町1007番地	C-50	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	三本立	E6			
Ⅲ	F	47	サクラ	天野町1007番地	C-50	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	三本立	E6			
Ⅲ	F	48	シダレサクラ	天野町1007番地	C-30	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		D7			
Ⅲ	F	49	ソテツ	天野町1007番地	C-100	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	六本立	D6			
Ⅲ	F	50	モミジ	天野町1007番地	C-30	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	二本立	D6			
Ⅲ	F	51	モミジ	天野町1007番地	C-30	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	三本立	D6			
Ⅲ	F	52	モミジ	天野町1007番地	C-20	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	二本立	D6			
Ⅲ	F	53	サクラ	天野町1007番地	C-20	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		D6			
Ⅲ	F	54	モミジ	天野町1007番地	C-20	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	三本立	D6			
Ⅲ	F	55	サクラ	天野町1007番地	C-40	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	三本立	D6			
Ⅲ	F	56	モミジ	天野町1007番地	C-30	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	三本立	D6			
Ⅲ	F	57	モミジ	天野町1007番地	C-15	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		D6			
Ⅲ	F	58	サクラ	天野町1007番地	C-40	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	二本立	D5,D6			
Ⅲ	F	59	モミジ	天野町1007番地	C-20	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		D6			
Ⅲ	F	60	ツバキ	天野町1007番地	C-20	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	三本立	D6			

①中心伽藍地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理報告書	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
Ⅲ	F	61	サクラ	天野町1006番地	C-20	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		D5			
Ⅲ	F	62	サクラ	天野町1007番地	C-35	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	二本立	D5			
Ⅲ	F	63	ハゼノキ	天野町1007番地	C-40	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		D7			
Ⅲ	F	64	イロハモミジ	天野町1007番地	C-65	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		D7			
Ⅲ	F	65	カヤ	天野町1007番地	C-1100	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		D7			
Ⅲ	F	66	モミジ	天野町1547番地	C-25	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		E5			
Ⅲ	F	67	サクラ	天野町1007番地	C-20	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		F7			
Ⅲ	P	01	鉄製灯明台(一对のうち)	天野町1007番地	幅=1.30m 奥行=1.30m 高さ=4.00m	—	—	—	石・銅 (台石)	金剛寺	金剛寺	中門下石段北 鉄製灯明台 献燈 天野山金剛寺奉賛会 井上喜代一 他 140名 連記 昭和四十九年四月二十一日建立 第七十六世 俊雅 代	F6		32	
Ⅲ	P	02	鉄製灯明台(一对のうち)	天野町1007番地	幅=1.30m 奥行=1.30m 高さ=4.00m	—	—	—	鉄 (台石)	金剛寺	金剛寺	中門下石段南 鉄製灯明台 献燈 寄進者芳名磯谷紡績 株式会社 他 十五社連記 台石 昭和四十九年八月吉日建立 多宝塔前	F6		33	
Ⅲ	P	03	石燈籠	天野町1007番地	幅=1.50m 奥行=1.50m 高さ=4.30m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	表「除障 通明」 裏「当山七十五世為雄 昭和四十五年六月吉日 和泉市施主 久保景嗣」	D6		45	
Ⅲ	P	04	石造線香立	天野町1007番地	幅 0.61m 高さ 0.78m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	金堂前 裏「奉堺 金剛講 納嶋」 裏「昭和三十一年八月第七十三世 光俊 和尚代」(以下22名連記)	D6		55	滅失(五仏堂前 に移動?)
Ⅲ	P	05	石造線香立	天野町1007番地	縦 0.70m 横 0.70m 高さ 0.90m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	五仏堂 東側 御影堂前石造線香立て 「奉納」	D6		65	
Ⅲ	P	06	線香建上屋	天野町1007番地	—	—	—	—	木造	金剛寺	金剛寺	切妻銅版葺き 五仏堂 東側	D6			
Ⅲ	P	07	絵馬カケ	天野町1007番地	幅 2.08m 高さ 2.70m	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	金堂南	D6			基礎のみ
Ⅲ	P	08	絵馬カケ	天野町1007番地	幅 6.95m 高さ 2.35m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	金堂南西	D6			基礎のみ
Ⅲ	P	09	ろうそく立	天野町1007番地	幅 1.20m 奥行= 0.58m 高さ 1.80m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	求聞寺堂前	D7			

①中心加藍地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理報告書	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
II	I	追1	納経所	天野町1007番地	木造平屋、入母屋 遣、銅板葺	現代(平成22年3 月1日)		—	木造	金剛寺	金剛寺		E6			
I	D	追1	板碑	天野町1007番地	縦=0.51m 横=0.79m 高さ=2.12+0.8m	現代		—	石	金剛寺	金剛寺	昭和前期(戦前)のもの 平成21年に移設(旧計画 D33)	E6			
III	O	追1	平成大修理寄進者	天野町1007番地	据置型	現代	平成修理の記念	—	石	金剛寺	金剛寺	平成大修理名鑑寄附	E6			
III	O	追2	平成大修理寄進者	天野町1007番地	据置型	現代(平成30年3 月)	平成修理の記念	—	ステンレス	金剛寺	金剛寺	平成大修理名鑑寄附	E6			
II	L	追1	火気厳禁看板	天野町1007番地	地上据置型防火標識	現代(平成30年3 月)	消防法による	—	スチール	金剛寺	金剛寺		E6			
III	P	追1	絵馬掛け	天野町1007番地	幅 2.1m 高さ 2.6m	現代		—	鉄	金剛寺	金剛寺		E6			
III	P	追2	卒塔婆	天野町1007番地	15cm×15cm×2.55 m	現代		—	木製	金剛寺	金剛寺		D6			
II	J	追1	マンホール(防災)	天野町1007番地	66cm	現代		—	鉄	金剛寺	金剛寺		E6			
II	J	追2	マンホール(防災)	天野町1007番地	50cm	現代		—	鉄	金剛寺	金剛寺		E5			
II	J	追3	防犯設備	天野町1007番地	3基	現代	防犯事業	—	複合	金剛寺	金剛寺		E5			
II	J	追4	マンホール	天野町1007番地	Φ 50cm、鉄	現代		—	鉄	金剛寺	金剛寺		E6			
II	J	追5	手洗場	天野町1007番地		現代		—	コンクリート	金剛寺	金剛寺		D6			
II	J	追6	マンホール	天野町1007番地	Φ 50cm、鉄	現代		—	鉄	金剛寺	金剛寺		D5			
II	J	追7	消火栓2基	天野町1007番地	幅80cm×奥42cm× 高120cm 幅31cm×奥31cm× 高100cm	現代		—	複合	金剛寺	金剛寺		E7			
II	J	追8	外灯付防犯カメラ兼 ポール	天野町1007番地		現代		—	複合	金剛寺	金剛寺		D6			
II	J	追9	ボックス	天野町1007番地		現代(平成22年4 月6日)	納経所移設にと もなう	—	複合	金剛寺	金剛寺		E6			
II	J	追10	ボックス	天野町1007番地		現代(平成22年4 月6日)	納経所移設にと もなう	—	複合	金剛寺	金剛寺		E6			
II	J	追11	文化財案内看板	天野町1007番地		現代(平成31年3 月)	食堂南東横	—	複合	金剛寺	金剛寺		E6			
II	F	追1	サクラ	天野町1007番地		現代(令和4年6月 30日)		—	複合	金剛寺	金剛寺		E7			

②摩尼院地区取扱方針

当該地区は、宗教学法人摩尼院の敷地全域を包括する。摩尼院は、金剛寺の子院の一つである。地区内には重要文化財の書院、表門、築地塀（二所）が存在し、書院は慶長期のものとみられる。茅葺屋根の書院はかつて100坊近くあったとされる中世段階の子院の庫裏の面影を残していると考えられ、一山寺院の景観的特徴の一部をなしている。また、敷地は、この築地塀に囲まれており、完結性の高い地区となっている。地区内のうち、南半分の摩尼院書院と庭園を中心とする範囲を第Ⅰ種保存管理区域とし、現状保存の対象とする。北半分については第Ⅱ種保存管理区域とし、必要に応じて宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用に必要な現状変更をみとめる地域とする。

第13表 摩尼院地区取扱基準

項目	第Ⅰ種保存管理区域及び物件	第Ⅱ・Ⅲ種保存管理区域及び物件
建築物の新設・増改築・移転・撤去	原則的にみとめない。ただし、第10表に基き宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用上、止むを得ず、他に手段がない場合は、現状変更をみとめる。上記によるものであっても地下遺構・景観に影響のない範囲に留める。	宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用に必要な場合はみとめる。この際、遺構・景観に影響のない範囲に留める。周囲の第Ⅰ種保存管理物件に馴染むものとする。
上下水道・パイプライン・その他水路等の新設・改修・撤去	新設は、原則的にみとめない。ただし、宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用上、止むを得ず、他に手段がない場合は、現状変更をみとめる。上記によるものであっても地下遺構・景観に影響のない範囲に留める。	宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用に必要な場合はみとめる。この際、遺構・景観に影響のない範囲に留める。
木竹の植樹・伐採等	史跡の保存・管理・活用の範囲内でみとめる。ただし、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。	史跡の保存・管理・活用の範囲内でみとめる。ただし、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。
道路の新設・改良	原則的にみとめない。	宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用に必要な場合はみとめる。この際、遺構・景観に影響のない範囲に留める。周囲の第Ⅰ種保存管理物件に馴染むものとする。

その他、建造物の設置・改修・撤去	原則的にみとめない。ただし、第10表に基き宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用上、止むを得ず、他に手段がない場合は、現状変更をみとめる。上記によるものであっても地下遺構・景観に影響のない範囲に留める。	宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用に必要な場合はみとめる。この際、遺構・景観に影響のない範囲に留める。周囲の第I種保存管理物件に馴染むものとする。
指定文化財の保存修理	史跡の保存・管理・活用の範囲内でみとめる。ただし、遺構に対しては保存の措置をとる。	該当なし。
建造物内部の維持管理上必要な修理等	必要な範囲内でみとめる。ただし指定文化財においては、関係法令においてその定められた範囲内においてみとめる。	必要な範囲内でみとめる。
防災対策（集中豪雨・台風被害・土砂災害・土砂流出）	防災上必要な範囲内でみとめる。ただし、史跡の重要な構成要素としての建造物等の保存を尊重しつつ、史跡保存のための現状変更と調和を図る。上記によるものであっても、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。	必要な範囲内でみとめる。この際、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。周囲の第I種保存管理物件に馴染むものとする。
防災対策（地震・火災）	防災上必要な範囲内でみとめる。ただし、史跡の重要な構成要素としての建造物等の保存を尊重しつつ、史跡保存のための現状変更と調和を図る。上記によるものであっても、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。	必要な範囲内でみとめる。この際、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。周囲の第I種保存管理物件に馴染むものとする。

②摩尼院地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図の描写	備考	き損状況
I a	B	01	摩尼院書院	天野町1006番地	桁行16.9m、梁間9.2m、入母屋造、妻入、茅葺、四面庇附、本瓦および棧瓦葺	桃山	—	昭和47年(1972)半解体 平成3年(1991)小修理(一部 屋根修 理) 平成5年(1993)屋根の葺き替え・部 分修理 平成10年から平成13年(1999- 2001)自動火災報知ベル取替、記録 修理 平成15年から平成16年(2003-2004) 屋根の葺き替え・部分修理 平成18年(2006)・平成22年(2010) 防災設備小修理 平成18年(2006)危険木伐採(台風 等により倒木) 平成22年(2010)防災施設緊急修理	木造	摩尼院	摩尼院	金堂北側 国指定有形文化財・重文 S40529、R1.12.27 中世を通じて有力な子院として栄 え、いた 南期行在所	D5	○		躯体経過観 察が必要。 屋根は維持 保全のため の修理が必 要。
I a	B	01	摩尼院表門	天野町1006番地	一間薬師門 切妻造、本瓦 葺	江戸	—	平成18年(2006)修理 平成28年から平成29年(2016- 2017)解体修理	木造(1階建)	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院正門 国指定有形文化財・重文 R1.12.27	E5	○		
I a	D	01	土塀	天野町1006番地	高さ 1.00m	—	—	—	土	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院西側、下部石積	D5			
I c	D	02	木製扉	天野町1006番地	幅 2.25m 高さ 2.25m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院西側 2枚戸	D5			倒壊
I a	D	03	燈籠	天野町1005番地	幅 0.50m 高さ 1.35m	—	—	—	石	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院南西側	D5			
I a	B	04	摩尼院築地 塀(二所)	天野町1006番地	表門南方延長 11.8m、築地 塀、本瓦葺 北方延長4.8 m、築地塀、本 瓦葺	—	—	平成17年から平成24年(2005- 2012)築地塀が台風により破損した ため修理	土	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院 庭園東側 国指定有形文化財・重文 R1.12.27 縁飾、筋棟、本瓦葺	D4・D5	○		
I a	D	05	土塀	天野町1005番地	高さ 1.05m	—	—	—	土	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院 北側 荒壁 漆喰	D4			一部破損
I c	C	06	建物	天野町1006番地	2.0m × 3.0m	江戸	—	—	木造(1階建)	摩尼院	摩尼院	切妻本瓦葺 摩尼院書院側所	D5			障子一部外 れている。機 能していない (便所) 躯体は経過 観察が必要
I a	D	07	土塀	天野町1006番地	高さ 1.60m	—	—	—	土	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院 西側	D5	○		表面剥落あ り
I a	D	08	手洗鉢	天野町1006番地	幅 0.40m 奥行 0.37m 高さ 0.73m	—	—	—	石	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院 西側 横水碇付	D5			
I a	D	09	木塀	天野町1006番地	高さ 1.75m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院 庭園北側	E5			扉一部破損

②摩尼院地区

種別	項目	図面番号	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	備考	絵図の描写	き損状況	
I a	D	526	10	法篋印塔	天野町1005番地	石英閃緑岩 H3.20×W1.04× D1.03	—	—	—	石	摩尼院	摩尼院	境内摩尼院書院法篋印塔 (正面)「□□ 法印 大僧正□□ 法印 大僧正秀學」 石製線香立付き	D5				
I a	D	419	11	墓碑	天野町1005番地	御影石 H1.60×W1.21× D1.22m	延宝4年 (1676) 正月14日	—	—	石	摩尼院	摩尼院	摩尼院墓碑 越之前丸岡城主 (正面)「重隆院藏前飛鳥太守智光真海大居士 延寶四丙辰年正月十四日葬」 石製花立付き	D5	93			
I b	D	419	12	標石	天野町1006番地	幅 0.18m 奥行き 0.15m 高さ 1.40m	大正15年 (1926)9月	—	—	石	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院門前標石 (右側面)「大正十五年九月建立」 (正面)「南軒後村上天皇行在所 摩尼院」	E5	93			
II a	I	401	01	蔵	天野町1006番地	6.5m×6.5m	—	—	—	木造(1階建)	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院 西側 平成29年修理	D5				
II a	I	402	02	門	天野町1006番地	半間	—	—	—	木造	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院 東側	D5		○		
II a	I	403	03	便所倉庫	天野町1006番地	9.0m×2.7m	—	—	—	木造(1階建)	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院 東側	D5				
II b	I	404	04	倉庫	天野町1005番地	18m×4m	—	—	—	木造(1階建)	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院 北側	D5		○	下屋の屋根が一部 崩落、瓦破損、壁一 部破損 根本修理が必要	
II a	I	405	05	便所	天野町1005番地	1.8m×1m	—	—	—	木造(1階建)	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院 北東側	D4				
I b	C	406	06	門	天野町1005番地	半間	—	—	—	木造	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院 北東側	D5			(旧計画 I 06)	
II a	I	407	07	住宅	天野町1005番地	7m×5m	—	—	—	木造(1階建)	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院 北東側	D4			窓ガラス破損	
I b	C	931	08	門	天野町1005番地	幅 2.05×奥行き 1.50×高さ2.25m	—	—	—	木造	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院 北東側	D4		○	一部破損(旧計画 I 08)	
II a	J	518	01	井戸	天野町1006番地	幅 0.94m 奥行き 0.84m 高さ 0.70m	—	—	—	コンクリート	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院 北東側 井戸ポンプ付	D5				
II a	J	519	02	手洗場	天野町1006番地	幅 0.90m 奥行き 0.70m 高さ 0.07m	—	—	—	コンクリート	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院 北東側 水栓付	D5				
II a	J	520	03	引込柱	天野町1006番地	φ 0.10m	—	—	—	鉄	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院 北東側	D5				
II a	J	521	04	木扉	天野町1005番地	高さ 1.20m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院 北東側	D5			滅失	
II a	J	516	05	石積側溝	天野町1005番地	幅 0.45m	—	—	—	石	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院倉庫北側	D5				
II a	J	523	06	ため池	天野町1005番地	幅 2.20m 奥行き 2.60m 高さ 0.50m	—	—	—	石	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院倉庫北西側	D5				機能していない

②摩尼院地区

種別	項目	図面 番号	図面 番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面 位置	備考	絵図の 描写	き操状況
II a	J	07	524	境泉石	天野町1005番地	幅 0.15m 周厚 0.15m 高さ 0.40m	—	—	—	石	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院倉庫西「文部省」石標	D5			
II a	J	08	525	コンクリートスロープ	天野町1005番地	幅 0.80m 長さ 5.60m	—	—	—	鉄 コンクリート	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院蔵北西 手摺付	D5			
II a	J	09	500	放水銃	天野町1006番地	幅 0.50m 奥行き 0.63m 高さ 1.05m	—	—	—	スチール	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院 北側	D5			
II a	J	10	531	CB塀	天野町1005番地	高さ 1.30m	—	—	—	CB	摩尼院	摩尼院	宝物庫 南側	D4		△	
II a	J	11	538	側溝	天野町1005番地	幅 0.30m	—	—	—	石・コンクリート	摩尼院	摩尼院	コンクリートブロック塀下排水側溝	D4			
II a	L	01	529	境泉石	天野町1006番地	幅 0.12m 高さ 0.30m	—	—	—	コンクリート	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院西方	D5			
III	F	01	77	クスノキ	天野町1006番地	C-25	—	—	—	木	摩尼院	金剛寺	平成19年2月28日現状変更 で撤去	F5			
III	F	02		マキ	天野町1006番地	φ 0.12m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院					
III	F	03		ハクウンボク	天野町1006番地	φ 0.23m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院					
III	F	04		カキ	天野町1005番地	φ 0.25m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院					
III	F	05		ビワ	天野町1005番地	φ 0.15m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院	5本枝				
III	F	06		ビワ	天野町1005番地	φ 0.15m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院					
III	F	07		ツバキ	天野町1005番地	φ 0.15m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院	2本枝				
III	F	08		サクラ	天野町1005番地	φ 0.18m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院					
III	O	01	49	墓碑	天野町1006番地	高さ2.25×幅1.83 ×奥行き1.82m	—	—	—	石	摩尼院	金剛寺	境内摩尼院墓碑 (墓)「昭和四十年三月十八日 行年九十一才」 (表)「当山七十四世 大僧 正 秀禪和尚 不生位」	D5	97		

②摩尼院地区

種別	項目	図面 番号	図面 番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面 位置	備考	絵図の 描写	き損状況
Ⅲ	○	50	02	墓碑	天野町1006番地	幅2.35×幅1.80 ×奥行き1.81m	—	—	—	石	摩尼院	金剛寺	境内摩尼院墓碑 (妻)「昭和五十年九月二十一日 行年五十五才」 (養)「当山七十六世 權大僧正 俊雅和尚不生位」	D5	98		
Ⅱa	⋈		追1	マンホール	天野町1006番地	直径0.36m	—	—	—		摩尼院	摩尼院		D5			
Ⅱa	⋈		追2	マンホール	天野町1006番地	直径0.33m 直径0.33m 直径0.2m	—	—	—		摩尼院	摩尼院	3か所	D5			
Ⅱa	⋈		追3	マンホール	天野町1006番地	直径0.39m	—	—	—		摩尼院	摩尼院		D4			
Ⅱa	⋈		追4	マンホール	天野町1006番地	直径0.39m	—	—	—		摩尼院	摩尼院		D5			
Ⅱa	⋈		追5	マンホール	天野町1006番地	直径0.34m	—	—	—		摩尼院	摩尼院		D5			

②摩尼院地区

種別	項目	図面番号	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	備考	き損状況
Ia	A	02	02	庭園	天野町1006番地	—	江戸	—	平成12年(2000)周辺整備工事(庭園削溝の機能回復)	—	摩尼院	摩尼院	金剛寺摩尼院庭園(室町式)			
Ia	A	02-1	02-1	マキ	天野町1006番地	φ 0.35m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
Ia	A	02-2	02-2	マキ	天野町1006番地	φ 0.08m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
Ia	A	02-3	02-3	マキ	天野町1006番地	φ 0.12m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
Ia	A	02-4	02-4	ツバキ	天野町1006番地	φ 0.18m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
Ia	A	02-5	02-5	ツゲ	天野町1006番地	φ 0.09m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
Ia	A	02-6	02-6	マキ	天野町1006番地	φ 0.30m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
Ia	A	02-7	02-7	マキ	天野町1006番地	φ 0.15m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
Ia	A	02-8	02-8	灯笼	天野町1006番地	幅 0.45m 奥行き 0.45m 高さ 1.20m	—	—	—	石	摩尼院	摩尼院				並部分損傷2ヶ所
Ia	A	02-9	02-9	(石)	天野町1006番地	幅 1.0m 奥行き 1.3m 高さ 0.5m	—	—	—	石	摩尼院	摩尼院				
Ia	A	02-10	02-10	アゼビ	天野町1006番地	φ 0.20m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
Ia	A	02-11	02-11	アゼビ	天野町1006番地	φ 0.15m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
Ia	A	02-12	02-12	石橋	天野町1006番地	幅 1.1m 奥行き 0.7m 高さ 0.4m	—	—	—	石	摩尼院	摩尼院				
Ia	A	02-13	02-13	アゼビ	天野町1006番地	φ 0.15m(3枝)	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
Ia	A	02-14	02-14	ほこら	天野町1006番地	幅 0.62m 奥行き 0.91m 高さ 1.65m	—	—	—	—	摩尼院	摩尼院				
Ia	A	02-15	02-15	クスノキ	天野町1006番地	φ 0.30m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
Ia	A	02-16	02-16	ツバキ	天野町1006番地	φ 0.15m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				

②摩尼院地区

種別	項目	図面番号	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	備考	き損状況
I a	A	02-17	02-17	石段	天野町1006番地	幅 0.10m 奥行き 0.80m 高さ 0.35m	—	—	—	石	摩尼院	摩尼院	2段			
I a	A	02-18	02-18	灯籠	天野町1006番地	φ 0.60m 高さ 1.90m	—	—	—	石	摩尼院	摩尼院				
I a	A	02-19	02-19	クスノキ	天野町1006番地	φ 0.20m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
I a	A	02-20	02-20	ツバキ	天野町1006番地	φ 0.03m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
I a	A	02-21	02-21	アゼビ	天野町1006番地	φ 0.10m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
I a	A	02-22	02-22	ツバキ	天野町1006番地	φ 0.10m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
I a	A	02-23	02-23	ツバキ	天野町1006番地	φ 0.05m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
I a	A	02-24	02-24	マン	天野町1006番地	φ 0.18m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
I a	A	02-25	02-25	ナツツバキ	天野町1006番地	φ 0.15m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
I a	A	02-26	02-26	石橋	天野町1006番地	幅 0.70m 奥行き 0.70m 高さ 0.05m	—	—	—	石	摩尼院	摩尼院				
I a	A	02-27	02-27	イチイ	天野町1006番地	φ 0.10m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
I a	A	02-28	02-28	ツバキ	天野町1006番地	φ 0.30m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
I a	A	02-29	02-29	タイサンボク	天野町1006番地	φ 0.12m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
Ⅲ	A	02-30	02-30	池	天野町1006番地	幅 3.10m 奥行き 2.00m 高さ 0.25m	—	—	—	石	摩尼院	摩尼院				
Ⅲ	A	02-31	02-31	花壇	天野町1006番地	幅 2.30m 奥行き 1.50m 高さ 0.40m	—	—	—	石	摩尼院	摩尼院				
Ⅲ	A	02-32	02-32	石段	天野町1006番地	幅 0.50m 奥行き 0.50m 高さ 0.35m	—	—	—	石	摩尼院	摩尼院				
Ⅲ	A	02-33	02-33	手洗鉢	天野町1006番地	φ 0.32m 高さ 0.83m	—	—	—	石	摩尼院	摩尼院	横水栓付き			

②摩尼院地区

種別	項目	図面番号	図面番号	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	備考	き損状況
Ⅲ	A	02-34	02-34	02-34	マキ	天野町1006番地	φ 0.15m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
Ⅲ	A	02-35	02-35	02-35	モミジ	天野町1006番地	φ 0.12m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
Ⅲ	A	02-36	02-36	02-36	アラカン	天野町1006番地	φ 0.25m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
Ⅲ	A	02-37	02-37	02-37	カン	天野町1006番地	φ 0.16m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
Ⅲ	A	02-38	02-38	02-38	マキ	天野町1006番地	φ 0.10m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
Ⅲ	A	02-39	02-39	02-39	ツバキ	天野町1006番地	φ 0.04m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
Ⅲ	A	02-40	02-40	02-40	景石	天野町1006番地	幅 0.8m 奥行き 0.65m 高さ 0.50m	—	—	—	石	摩尼院	摩尼院				
Ⅲ	A	02-41	02-41	02-41	ソテツ	天野町1005番地	φ 0.40m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院	7株			
Ⅲ	A	02-42	02-42	02-42	マキ	天野町1006番地	φ 0.15m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
Ⅲ	A	02-43	02-43	02-43	ツバキ	天野町1006番地	φ 0.10m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
Ⅲ	A	02-44	02-44	02-44	ナツツバキ	天野町1006番地	φ 0.08m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				
Ⅱa	A	02-45	02-45	02-45	放水銃	天野町1006番地	幅 0.60m 奥行き 0.75m 高さ 1.05m	—	—	—	ステンレス	摩尼院	摩尼院				
Ⅱa	A	02-46	02-46	02-46	石積花壇	天野町1006番地	高さ 0.80m	—	—	—	石	摩尼院	摩尼院				
Ⅱa	A	02-46	02-46	02-47	石積花壇	天野町1006番地	高さ 0.46m	—	—	—	石	摩尼院	摩尼院				
Ⅱa	A	02-48	02-48	02-48	石積花壇	天野町1006番地	高さ 0.30m	—	—	—	石	摩尼院	摩尼院				
Ⅱa	A	02-49	02-49	02-49	石積花壇	天野町1006番地	高さ 0.40m	—	—	—	石	摩尼院	摩尼院				
Ⅱa	A	02-50	02-50	02-50	コンクリートマス	天野町1006番地	幅 0.65m	—	—	—	コンクリート	摩尼院	摩尼院				
Ⅱa	A	02-51	02-51	02-51	木柵	天野町1006番地	高さ 2.00m	—	—	—	木	摩尼院	摩尼院				天幕の板が破損
Ⅱa	A	02-46	02-46	02-52	石積花壇	天野町1006番地	高さ 0.40m	—	—	—	石	摩尼院	摩尼院				
Ⅱa	A	02-46	02-46	02-53	マス(防災)	天野町1006番地	φ 0.32m	—	—	—	鉄	摩尼院	摩尼院				

②摩尼院地区

種別	項目	図面番号	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	備考	き損状況
IIa	A	02-48	02-54	消火栓	天野町1006番地	幅 0.81m 奥行き 0.23m 高さ 1.35m	—	—	—	スチール	摩尼院	摩尼院	コンクリート基礎含む			
IIa	A	02-49	02-55	マス(防災)	天野町1006番地	φ 0.34m	—	—	—	鉄	摩尼院	摩尼院				
IIa	A	02-50	02-56	止水バルブ	天野町1006番地	φ 0.14m	—	—	—	鉄	摩尼院	摩尼院				
IIa	A	02-51	02-57	石積側溝	天野町1006番地	幅 0.45m	—	—	—	石	摩尼院	摩尼院				
IIa	A	02-50	02-58	井戸上屋	天野町1006番地	幅 0.97m 奥行き 0.97m 高さ 0.45m	—	—	—	木造(1階建)	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院 南東部分 ポンプ 上屋 つるべ付 下工間 付			
Ia	A	02-51	02-59	手洗鉢	天野町1006番地	幅 0.63m 奥行き 0.40m 高さ 0.95m	—	—	—	石	摩尼院	摩尼院	摩尼院西側 摩尼院中庭手洗鉢 (正面)家紋 越前丸岡城主が寄進した手洗鉢 正面に家紋が彫られている。 庭の高いところに墓碑がある。			